

平成27年6月23日
第2回学校適正規模検討委員会

**三条市立小・中学校の
適正規模・適正配置に関する基本方針
(骨子案)**

三条市教育委員会

1 基本方針策定の趣旨

児童生徒数の減少に伴う学級数や教職員数の減少によって生じる教育活動の制約や教職員の専門性、多様性の低下に対する懸念などに対処し、望ましい教育環境を将来にわたって維持し続けていくため、「三条市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定する。

基本方針の策定に当たっては、「三条市教育制度等検討委員会最終報告」を尊重しつつ、文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参考にし、「学校適正規模検討委員会」のご意見を伺いながら策定する。

平成20年2月 三条市教育制度等検討委員会最終報告 (学校の適正規模や施設整備・統廃合に関すること)

〔学級数〕 小学校: 12学級以上、中学校: 9学級以上

〔通学距離〕 小学校: 概ね4km以内、中学校: 概ね6km以内

2 学校適正規模の基本的な考え方

学級数が少ないことによる学校運営上の課題

- ① クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ② クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ③ 加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい
- ④ クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ⑤ 運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる
- ⑥ 男女比の偏りが生じやすい
- ⑦ 上級生・下級生間のコミュニケーションが少なくなる、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる
- ⑧ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
- ⑨ 班活動やグループ分けに制約が生じる
- ⑩ 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ⑪ 教科等が得意な子供の考えにクラス全体が引っ張られがちとなる
- ⑫ 生徒指導上課題がある子供の問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける
- ⑬ 児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる
- ⑭ 教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる

学級数が少なくなるに従い、配置される教職員数が少なくなる

教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題

- ① 経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる
- ② 教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより、学校経営が不安定になったりする可能性がある
- ③ 児童生徒の良さが多面的に評価されにくくなる可能性がある、多様な価値観に触れさせることが困難となる
- ④ ティーム・ティーチング、グループ別指導、習熟度別指導、専科指導等の多様な指導方法をとることが困難となる
- ⑤ 教職員一人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分確保できない
- ⑥ 学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均衡が生じる
- ⑦ 平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難となる
- ⑧ 教員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく、指導技術の相互伝達がなされにくい(学年会や教科会等が成立しない)
- ⑨ 学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある
- ⑩ 免許外指導の教科が生まれる可能性がある
- ⑪ クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる



学校運営上の課題が児童生徒に与える影響

- ① 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- ② 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある
- ⑤ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい
- ⑥ 教員への依存心が強まる可能性がある
- ⑦ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある
- ⑧ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい
- ⑨ 多様な活動の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい



【適正規模】 小学校12学級以上、中学校9学級以上

小学校では、全学年でクラス替えが可能で、かつ多様な学習方法や活動を行うためには全校12学級(各学年2学級)以上が望ましい。

中学校では、教科に専門性があることから学習指導面において各教科の免許所有教員の配置と、5教科における教員が複数配置され、クラス替えも可能となる全校9学級(各学年3学級)以上が望ましい。

3 学校適正配置の基本的な考え方

【通学距離】 小学校 概ね4km以内、中学校 概ね6 km以内

【通学時間】 概ね1時間以内

- 通学距離は、国の基準(小学校概ね4km以内、中学校概ね6km以内)に準ずることが妥当である。
- 通学時間は、公共交通機関やスクールバスの利用も想定し、概ね1時間以内とする。
- 遠距離通学者への配慮
 - ・公共交通機関を利用できる地域
交通機関利用者の保護者への負担軽減(遠距離通学費補助金交付要綱)
 - ・公共交通機関を利用できない地域は、スクールバスを運行



スクールバス運行距離基準(平成22年度～)

小学生	通年	概ね3km以上
中学生	夏季	概ね6km以上
	冬季	概ね4km以上

※ 距離基準のほかに、規則等に基づき、運行が必要と認める場合

- ① 学校の統廃合に伴い必要と認められる地域
- ② 運行計画に支障をきたすことなく(運行経路上、定員内等)登下校の安全に配慮する運行範囲である場合

4 適正規模に向けての検討

適正規模に満たない学校については、次の基準により統廃合の検討を開始する。
なお、統廃合の検討に当たっては、小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進を図るため、中学校区を一つの単位として検討する。

【統廃合の検討を開始する基準】

- ア 校舎の安全性の確保
文部科学省が安全の目安としているIs値0.7未満の学校のうち、構造上の問題で耐震補強ができない場合
- イ 著しく小規模な状況が継続する場合
複式学級が2学級編制される状況が継続する場合
- ウ 保護者・地域から適正規模に向けての検討要望を受けた場合

検討対象校 ()はH27学級数

	小学校15校	中学校1校
三中学区	三条小(6)、上林小(6)	
四中学区	旭小(6)、保内小(6)	
本成寺中学区	西鱈田小(8)	
大島中学区	大島小(6)、須頃小(6)	大島中(3)
栄中学区	栄中央小(11)、栄北小(6)、大面小(6)	
下田中学区	長沢小(6)、笹岡小(6)、大浦小(6)、森町小(6)、飯田小(6)	

校舎の安全性（耐震診断結果）

【校舎の安全の目安】国土交通省Is値0.6以上、文部科学省Is値0.7以上

Is値	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
0.3未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
0.3以上0.6未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
0.6以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※平成18年1月25日国土交通省告示第184号による

学校	建物	構造	建築年	階数	面積	第2次診断結果		耐震化の方向性等
						Is値	α値(CT×SD値)	
三条小学校	普通教室・管理棟	RC	S30・31年	3	4,050	0.58	2.33	Is値0.7未満のため、耐震補強が必要であるが、建物の構造上耐震補強ができない。
	特別教室棟	RC	S42年	2	362	0.48	1.77	
	屋内運動場	S	S29年	1	1,170	0.53	0.66	
裏館小学校	普通・管理教室棟	RC	S39年	3	1,748	0.28	1.17	現地改築済(H24.9～供用開始)
	管理棟	RC	S40年	3	703	0.19	0.63	
	普通・特別教室棟	RC	S40年	3	1,904	0.31	1.33	
井栗小学校	特別教室棟	RC	S55・56年	3	1,084	0.64	0.65	Is値0.7未満のため、今後耐震補強を行う。
	管理普通教室棟	RC	S56年	3	2,316	0.69	0.39	Is値0.7未満のため、今後耐震補強を行う。
西鱈田小学校	屋内運動場	S	S48年	1	769	0.32	0.99	耐震補強実施済
	普通教室棟	RC	S48年	3	1,307	0.38	0.48	耐震補強実施済
	管理・特別教室棟	RC	S48年	2	1,121	0.45	0.58	耐震補強実施済
月岡小学校	屋内運動場	S	S50年	1	694	0.38	1.18	耐震補強実施済
	管理棟	RC	S50年	3	841	0.43	0.55	耐震補強実施済
	普通教室棟	RC	S50年	2	1,074	0.67	0.68	Is値0.7未満のため、今後耐震補強を行う。
大崎小学校	屋内運動場	S	S49年	1	755	0.29	0.54	耐震補強実施済
	低学年棟	RC	S48年	2	1,113	0.39	0.39	耐震補強実施済
	配膳・会議棟	RC	S48年	2	271	0.46	0.47	耐震補強実施済
	管理棟	RC	S48年	3	1,176	0.45	0.31	耐震補強実施済
	昇降棟	RC	S48年	3	1,004	0.49	0.49	Is値0.7未満のため、平成27年度に耐震補強を実施中
	特別教室棟	RC	S49年	1	582	1.02	0.81	Is値0.7以上により耐震補強不要
	高学年棟	RC	S53年	3	1,024	0.57	0.44	Is値0.7未満のため、平成27年度に耐震補強を実施中
保内小学校	普通教室棟・管理棟・特別教室棟	RC	S56年	3	3,391	0.34	0.34	耐震補強実施済
須頃小学校	屋内運動場	S	S50年	1	700	0.33	1.03	耐震補強実施済
	普通特別教室棟	RC	S50年	3	1,564	0.75	0.77	Is値0.7以上により耐震補強不要
	管理普通教室棟					0.32	0.32	
第二中学校	普通教室棟	RC	S45年	4	2,316	0.43	1.43	耐震補強実施済
	屋内運動場	S	S39年	1	935	0.07	0.2	現地改築済(H26.11～供用開始)
第三中学校	特別教室棟	RC	S55年	3	917	0.76	0.77	Is値0.7以上により耐震補強不要
	普通教室棟	RC	S55年	4	4,041	0.52	0.52	Is値0.7未満のため、平成27年度に耐震補強を実施中
	特別教室棟	RC	S55年	3	917	0.76	0.77	Is値0.7以上により耐震補強不要
本成寺中学校	管理普通教室棟	RC	S54年	4	1,967	0.43	1.43	耐震補強実施済
	普通教室棟	RC	S55年	4	1,368	0.64	0.66	
	屋内運動場	S	S43年	1	892	0.19	0.58	耐震補強実施済
	特別教室棟	S	S46年	2	394	0.10	0.32	現地改築済(H26.8～供用開始)
大崎中学校	屋内運動場	S	S53年	1	1,105	0.15	0.45	Is値0.7未満のため、大崎小学校隣接地に大崎中学区小中一体校として移転改築を行う。(H29.4～供用開始予定)
	管理普通教室棟	RC	S52・53年	4	2,778	0.39	0.39	
	特別教室棟	RC	S53年	3	875	0.22	0.22	
	特別教室棟	RC	S53年	3	357	0.27	0.27	
栄中学校						Is値	CT×SD値	耐震補強実施済
	特別棟	RC	S53年	2	132	0.94	0.53	
	昇降棟	RC	S53年	3	661	1.05	1.05	
	普通教室棟	RC	S53年	3	1,078	1.19	0.39	
	特別管理棟1	RC	S53年	3	2,682	0.72	0.72	
	特別管理棟2	RC	S53年	2	804	0.70	0.33	
	屋内運動場	SRC	S53年	3	2,440	0.54	0.15	
渡り廊下棟	S	S53年	1	41	1.36	4.20		